

# 平群

Heguri

## ≡ 議会だより 6月定例会

No.242

平成25年8月1日  
発行:奈良県平群町議会

### 第3回定例会(6月)

議決結果・質疑あれこれ	2~4
決算審査特別委員長報告	5
文教厚生委員長報告	6~7
総務建設委員長報告	8~9
議会の動き・議員提出議案	9
町政を問う!一般質問	10~15
町の話	16



短冊に願いをこめて (平群幼稚園 たなばた笹の葉飾りつけ)

# 第3回定例会 こんなことが決まりました

第3回定例会が6月4日～14日まで11日間の会期で開かれました。初日は、町長提出議案10件が上程され、その内9件が即決されました。

水道事業会計決算認定案は、6名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し付託して審議(6月6日)。

家庭ごみの有料化実施の凍結を求める請願書と乳幼児等医療費助成条例の一部改正議案は文教厚生委員会に付託して審議(6月7日)しました。

一般質問は11、12日に行われ、11名の議員が質問しました。

このあと、奈良県広域消防組合の設立とそれに伴う西和消防組合の解散と財産処分の議案が町長から提出され、総務建設委員会に付託して審議(6月13日)しました。最終日は、町長から公

共下水道工事の変更請負契約締結と東小学校大規模改修工事の請負契約締結の2議案が新たに提出され即決。

委員付託議案の委員長報告が行われ、奈良県広域消防組合設立関連3議案は賛成多数で可決。水道事業会計決算は賛成多数で認定。家庭ごみ有料化凍結の請願は賛成少数で不採択に。乳幼児等医療費助成条例の一部改正は、町長がこの日提出した高校1年生まで助成する議案が全会一致で可決しました。

議員提出の「『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』の早期制定を求める意見書」は全会一致で、「速やかな取り調べの可視化を求める意見書」は賛成多数で可決。「公的年金の2.5%引き下げの中止を求める意見書」は賛成少数で否決になりました。

議員提出の「『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』の早期制定を求める意見書」は全会一致で、「速やかな取り調べの可視化を求める意見書」は賛成多数で可決。「公的年金の2.5%引き下げの中止を求める意見書」は賛成少数で否決になりました。

## 議決結果賛否一覧 ○賛成 ●反対 △退席 ※除斥 議長は、可否同数の時議案の可否を決定します

提出区分	議案名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	奥田幸男	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	繁田智子	馬本隆夫	下中一郎
町長提案	専決処分の承認を求めることについて(平成25年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度平群町一般会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町公共下水道6号幹線1工区工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	土地所有権移転請求等に関する訴えの提起について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	奈良県広域消防組合の設立に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	奈良県広域消防組合設立に伴う西和消防組合の解散に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	西和消防組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	平群町公共下水道5号幹線その4工事の変更請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群東小学校大規模改修工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度平群町水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
公平委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
教育委員会委員の任命に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願	家庭ごみの有料化実施の凍結を求める請願書	不採択	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	
議員提出議案	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の早期制定を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公的年金の2.5%引き下げの中止を求める意見書	否決	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
	速やかな取り調べの可視化(取り調べ全過程の録音録画)を求める意見書	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	

## 専決処分の承認

### 〈平成25年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)〉

平成24年度の実質収支が2394万5千円の赤字になるため、25年度会計から同金額を繰上充用するものです。

## 主な質疑

**質問** 24年度単年度収支289万7千円の赤字。この要因は。

**答弁** 競売の配当が約550万円あった。



**質問** 昨年度末の国への償還残高、住民の返済残高、滞納額はどのようになっているのか。

**答弁** 国への償還残高は1億694万円、住民の返済残高2億4千万円、滞納は1億3千万円となっている。

## 平群町条例の一部を改正する条例

・寄付金税額控除

平成25年から49年まで復興特別所得税の課税に伴う、ふるさと寄付金にかかる特例控除の見直し

・延滞金の利率の見直し

納期限の翌日から1カ月を経過するまでの期間の利率を4・3%から3・0%に。

納期限が経過し履行延滞となった納税者に課される利率を14・6%から9・3%に。

還付加算金を4・3%から2・0%に。

・個人住民税の住宅借入金等特例控除

住宅ローン控除を平成26年から29年末まで4年延長することにも、所得税から控除しきれなかった額を住民税から控除できる最高額を現行の9万7500円から13万6500円に引き上げるものです。

## 主な質疑

**質問** 滞納延滞金の収入状況の実態は。

**答弁** 町税で、平成23年度は1373万円。

**質問** 延滞金は滞納者へのペナルティ。悪質な場合は別として、機械的ではなく、相手の生活実態もしっかり把握して丁寧な対応をすべきでは。

**答弁** 延滞金の免除は、町長の裁量権で、資力による免除もある。調査もして適切に対応していきたい。

## 平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正により、

引用条文を読み替える必要があることからのものです。

## 平成25年度平群町一般会計補正予算(第1号)

補正総額は1396万5千円。公社から買い戻した公有地の利活用を図るための基本計画と測量調査費などを予算措置するもので、歳入不足の1080万2千円は基金を取り崩して収支の均衡を図るものです。

## 主な質疑

**質問** 風疹予防ワクチンの助成が予算措置されたが、対象者や見込み人数、周知等の説明を。

**答弁** 対象者は妊娠予定及び妊娠希望、同居家族等。見込み人数は180人。単独、混合ワクチンを対象としている。額は混合が8500円と聞いており、その半額を補助、県からその半額が町に補助される。期間は、今年4月1日から来年3月末までです。

広報は、町内の医療機関、公施設等にポスターを張り出し、広報紙、ホームページ等でも掲載していく。

**質問** 風疹ワクチン助成、大阪市は全額補助と聞いている。50%にした理由は。

**答弁** 定期の段階で受けられていれば、それなりの抗体もあったことや本人にも負担をというところで、こういう対応をした。

**質問** 児童福祉の事業・業務委託料155万円、どのような調査をするのか。

**答弁** 子育てについて、ニーズを把握するためのもの。



ミュージックヘル「ヘレン・キング」  
たなはたコンサート  
(子育て支援センターにて)

# 質疑あれこれ

6月議会に上程された  
議案及び質疑を紹介します。

**質問** 文化財発掘で500万円近い予算が組まれているが、その都度状況の報告を。

**答弁** 適時報告する。

**質問** 旧西保育園跡地の測量調査の目的は。

**答弁** 地域が土地の提供もされて設立したもの。民有地もあり、地権者全員の合意がはかれため、境界等の確定をするために行つ測量設計費用。

**質問** 公社から買い戻した公有地の利活用について、いつごろ確定的なものが出るのか。

**答弁** 現在、事業化に向けて検討しており、今回提案した防災拠点施設整備以外は、いつま



でに事業化がはかれるのか、具体的な計画を報告できるものはない。

**質問** かしのき荘のマッサージチエアーについて、以前も購入している。合計14台も必要なのか。

**答弁** 使うときは一時になるので、これくらいは最低必要だと考えている。

**質問** 昨年度の決算状況は。

**答弁** 実質単年度収支は約1億5千万円の赤字。詳細についてはまだ分析できていない。

**質問** 元気臨時交付金の金額は確定したのか。この交付金で6月補正とのことだったが組んでいないのはなぜか。

**答弁** 元気臨時交付金の限度額は5868万2千円。交付金を活用した補正については、まだ具体の計画ができていないので今後精査して考えたい。

### 平群町公共下水道6号幹線1工区工事の請負契約の締結

吉新地内の平群橋東詰から奈



良中央信用金庫平群支店までの約114mの公共下水道管布設工事。指名競争入札によるもので、請負金額は4563万9300円。

### 土地所有権移転請求等に関する訴えの提起

中央公園用地として町土地開発公社が取得した用地の一部が仮登記となっているため、公社解散に伴い、同公社との間で締結した「代物弁済契約」にもとづいて、同用地の所有権の正当性に関する訴えを裁判所に提起するためのものです。

### 平群町公共下水道5号幹線その4工事の変更請負契約の締結

昨年12月議会で議決した表記工事請負について、現状土質が想定土質と異なったため、土留工法をパネル式に、推進工法も礫質土対応に変更したこと、また、水道管の撤去が必要になったことから、153万6150円増額するものです。

#### 主な質疑

**質問** 水道管の撤去になった理由はなにか。

**答弁** この水道管で給水していた家屋が除却され、不要になったため。

**質問** あまりにも設計変更が多いのではないか。

**答弁** 推進工事については、想定した土質で最も合理的で安価な方法で発注することになるが、土の中のことであり、ポイントの調査では実際と異なることがある。

**質問** 設計変更は増額が多い。減額になった設計変更はあったのか。

**答弁** 減額の発生頻度は低い。しかし、今回の提案でも、土留め工法では若干減額になっている。

### 平群東小学校大規模改修工事の請負契約の締結

一般競争入札によるもので、請負金額は4億6407万5850円。工期は平成27年3月31日。

#### 主な質疑

**質問** 当初予算との関連ではどういふことになるのか。

**答弁** 当初予算では5億4597万2千円。



# 平成24年度水道事業会計 決算審査特別委員長報告

第3回定例会本会議において、当委員会に付託を受けた、平成24年度平群町水道事業会計決算の認定について、次の通り報告します。

## 審議の主な内容

**質問** 営業外収益では、前年度比16・2%の減。その要因は。

**答弁** 給水負担金は、年々減ってきており、24年度は、37・5件となった。

この給水負担金の半分ほどが菊美台地区であり、菊美台以外で開発がない限り、給水負担金の増加は見込めない。

**質問** 町と県営水道の耐震化の状況は。

**答弁** 今年度は、水道庁舎の耐震について診断を行い、必要であれば耐震工事を行っていきたい。また、浄水場関係の施設については、平成29年度を一つ

の区切りとして、県水に移行するのかということも結論を出していく。

奈良県の県営水道の施設関係では、浄水池の耐震補強は、平成25年度中に完了し、県の送水管は、約7割以上耐震管が設置されている。

一部の施設が被災した時に

は、浄水場間で水を融通できる

ような連絡管や、重要な路線の複線化によるネットワーク化を進めており、複数系統からの送水が可能になっている。

**質問** 24年度の自己水の費用と25年度の県水の購入価格は。

**答弁** 24年度決算における自己水の原価は、1mあたり108円で、県営水道の単価は140円で購入しており、自己水で賄う方が、費用的には安くなくなる。25年度の予算では、二段階の料金制度になり、24年度の県からの受水量で換算すると、1

mあたり127円程度になる。

**質問** 水道庁舎の耐震化、水道管の老朽化も含めた取り替え、及び耐震化の費用の見通しは。

**答弁** 耐震化の費用については、建築物、計装機器類等も含めて、220億円程度かかる。計装機器類は、本来の更新時期をはるかに過ぎており、今後大きな更新時期が到来するのが平成33年度から39年度にかけてであり、その時期になると毎年度、約12億円から13億円を連続して更新していかなければならない。

年数が経った水道管は、優先順位をつけ、漏水状況も見ながら重要な路線から更新していく。

## 反対討論

県水の単価が下がった分を住民に還元すべきだという立場で主張してきた。住民生活が厳しいときなので、県が下げた分は、住民に還元すべきではないか。24年度の5円下がった分での影響として、県水の費用が約960万円削減されて、給水件数で割れば1200円程度であり、1か月分の基本料金を住民

に還元できるものだと思う。住民生活を考えるうえで行政として棚ぼた式に県の単価が下がった分は、住民に還元すべきという立場から決算について反対をしたい。

## 賛成討論

県は耐震化がほとんど終わっているが、平群町では、送水管等が老朽化しており、管の入れ替え、計器類の取り換えも行わなければならない。

災害時に、最低限の飲料水を供給することも含め、今後、投資せざるを得ない。

県水が値下げされても、現実的に今年度は10年ぶりに約70万円近い損失を出している。

この要因は、有収水量の減、有収率の減に対して、県水の実績が増えたことである。これは工事によるものもあるが、不用品が増えたという事であり、今後、管理をしっかりとしたい。だくことをお願いし賛成したい。

採決の結果、挙手多数により原案どおり認定することに決しました。

決算審査特別委員会

委員長 奥田 幸男

## 水道業務実績

	単位	平成24年度	平成23年度	比較
給水件数	件	7,685	7,723	△38
年間総排水量	m <sup>3</sup>	2,280,345	2,274,589	5,756
内自己水	m <sup>3</sup>	378,927	400,917	△21,990
内県営水道	m <sup>3</sup>	1,901,418	1,873,672	27,746
年間有水量	m <sup>3</sup>	2,046,991	2,051,190	△4,199
有収率	%	89.8	90.2	△0.4

※有収率…料金収入を得た割合（年間有水量/年間総排水量）

## 水道決算状況

(単位：円)

		平成24年度	平成23年度	差引
収益的収支	収入	460,491,431	465,782,870	△5,291,439
	支出	461,189,465	450,776,396	10,413,069
	差引	△698,034	15,006,474	△15,704,508
資本的収支	収入	45,702,900	39,217,080	6,485,820
	支出	99,136,666	89,200,626	9,936,040
	差引	△53,433,766	△49,983,546	△3,450,220

# 文教厚生委員長報告

去る6月4日、平群町議会第3回定例会本会議において、文教厚生委員会に付託を受けました請願並びに発議の審査結果を報告いたします。

## 請願「家庭ごみの有料化実施の凍結を求める請願」について

**質問** ごみ有料化実施の進捗状況は。

**答弁** 袋の販売に関しては、5月1日に平群町商工会と委託契約を締結し1年毎の契約となり、販売店舗の募集の準備にかかっている。

指定袋の製造については5月23日に株式会社イカリトンボと委託契約を締結し12月20日までが履行期限であり、現在、制作の途中である。

**質問** 町が契約を違約した場合のペナルティは。

**答弁** 商工会との契約は、流通の手数料のみで製作に伴う損

害が発生しないため、特に違約条項は設けていないが、中止となれば、現在、指定袋販売店舗の募集の準備にかかっており店舗には大変大きな迷惑をかけることになる。

**質問** 家庭ごみの有料化指定袋制に至るまでの経過は。

**答弁** 平成17年に廃棄物減量等推進審議会に「ごみ減量に向けた有料化について」諮問を行い、協議される中、平成20年3月27日に「家庭ごみ有料化はごみ減量に有効な方法である」と

答申が出された。

以降、20回以上の審議会で協議をしてきた。その間の住民説



明については、平成22年度に全自治会に出向く他、住民懇談会を4回開催。また、毎年懇談会を開催する中、平成24年12月議会に上程、可決し、本年3月議会で予算が可決した。10月からの有料化に向けた準備を行うため、商工会との協議、ごみ袋製作の入札等の執行を進めている。また、4月には全戸にパンフレットの配布、広報による周知に努めている。

## 請願文書表

家庭ごみの有料化実施の凍結を求める請願書

受理番号 第1号  
 受理年月日 平成25年5月22日  
 要旨 家庭ごみ有料化の2013年10月実施を凍結すること  
 理由

昨年12月議会において、「ごみ減量のため」として家庭ごみ有料化が決められました。

今、地球環境を守るうえからも、ごみをいかに減量するのが大きな課題になっています。

生ごみの徹底した堆肥化、分別収集の一層の推進を図って、資源効率化を向上させるなどの施策が必要です。平群町のごみ減量の施策は、昨年4月からの廃プラ、トレー、ペットボトルのステーション回収、10月からの段ボール出し禁止などが始まったばかりです。今、行っている施策に対する検証もなく、また、町主催の「ごみ懇談会」でも有料化に対する反対や減量効果に疑問の声が多数出されました。

ごみ減量を理由にした有料化の実施には住民合意が得られていません。従ってごみ有料化の10月からの実施は凍結し、行政のイニシアチブと住民の協力によって、ごみ減量をすすめるべきと考えます。

地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。

請願者の住所及び氏名

生駒郡平群町福貴1049-106

奥村 妙子

生駒郡平群町椿台3-4-4

大倉 賢太郎

生駒郡平群町若葉台4-13-9

稲月 敏子

紹介議員 山口 昌亮 植田 いずみ  
 付託委員会 文教厚生委員会



## 賛成討論

昨年4月から住民の協力により、ステーションでペットボトル・トレイ・廃プラ回収がスタートし、10月から段ボールのごみ出しの禁止が始まったことによりごみが減少している。もう少し検証すべきではないか。

質問 指定袋の試行について。

質問

7月中旬に納品され、8月から各自治会に届け、9月から試行の実施ができるよう考えている。

答弁

## 反対討論

平成20年3月27日に廃棄物減量等推進審議会で慎重な審議をされ、家庭ごみ有料化は、ごみ減量のために住民の意識改革等に有効だと判断された。

以降、担当課が全自治会での住民説明会の開催や住民懇談会を行う中、昨年12月議会で可決し、契約の締結も終わり予算の執行を行っていることから、凍結には反対意見が出されなかった。

## 答弁

現行では入院のみが小学校卒業までで年間300万円と試算している。通院・入院とも中学校卒業までに拡充すると、現行制度と小学校通院と中学校入院通院あわせて3600万円の試算である。

## 質問

今回の発議に対する町長の所見は。

## 答弁

第5次総合計画の提案理由にもあるように、当然、子育て支援の一環の施策であるという認識は持っている。いかに財源の手当てをするかが今後の課題であると思っている。



文教厚生委員会

委員長 窪 和子

採決の結果、全会一致で可決しました。

## 町が「高校1年生まで医療費無料化」議案を提出したため発議を撤回

6月14日本会議最終日、文教厚生委員会委員長報告の後、町長より、「高校1年生までに拡大する条例改正案」が提出されました。

これを受け、議員提案された発議については提出者から撤回請求が出され、本会議での審議は行いませんでした。

改めて、町長提案の議案の審議を行い、その結果、全会一致で可決し、平成26年4月1日より、『子ども医療費助成が、入院・通院とも高校1年生修了まで拡大』されることが決定しました。

## 町議会ホームページ

平群町議会では、多くの町民の皆様を知っていただき、身近なものとして受け止めていただけるよう、町ホームページに議会の仕事、議会の構成、請願・陳情の仕方、議会だより等を掲載しています。

審議結果、会議録、意見書・決議の掲載も行っています。

また、会議録は、町の情報公開室、あすのす平群の公共施設に配置しています。



## 閲覧方法

平群町ホームページから  [平群町議会](#) をクリックしてください。平群町議会一覧が表示されます。表示されるメニューからお選びください。

## 平群町ホームページ

<http://www.town.heguri.nara.jp/web/index.html>

## 平群町議会 メールアドレス

E-mail: [gikai@town.heguri.nara.jp](mailto:gikai@town.heguri.nara.jp)

# 総務建設委員長報告

平群町議会第3回定例会本会議において、当委員会に付託を受けた議案は、奈良県広域消防組合の設立に関する協議について、奈良県広域消防組合設立に伴う西和消防組合の解散に関する協議について、西和消防組合の解散に伴う財産処分に関する協議についてであります。審議結果を報告いたします。

3議案を、会議規則の規定により一括議題として審議をおこないました。

## 審議の主な内容

**質問** 西和消防組合の解散により組合議会が無くなるが運営等のチェック体制は。

**答弁** 奈良県広域消防組合議会が設置され、構成市町村から組合議会の議員が選出され、組合議会の中で予算、決算等について審議される。

**質問** 広域化による西和7町での経費節減は。

**答弁** 消防救急無線と通信指令システムのデジタル化の整備の投資的経費で、西和消防組合分として約3億3千万円軽減される。平成28年度から平成33年度まで、現在と比較して毎年約634万5千円減額される。

経費で決まっていない部分もあるが、運営協議会や構成市町村と十分協議を行い、経費負担が増えないよう監視していくことも確認している。

**質問** 広域化を急ぐ理由は。

**答弁** 阪神淡路大震災時に各消防本部が集まり、救急・消火活動を進めてきたが、指揮命令系統が混雑し救援活動に支障があったため消防庁、国を挙げて一つの課題として検討をされてきた。大きな事案が発生した場合は指揮命令系統の一元化のもと、1分1秒でも早く招集体制を進めていくことや、情報を住民の方々に発信していくことが必要である。

**質問** 解散に伴う財産処分について

**答弁** 基金は、按分率により解散前日の基金残高により各町に返却し、土地は西和消防本部、各分署は設置町から、訓練塔は東安堵南方水利組合から無償で借りており、引き続き奈良県広域消防組合に無償貸与していく。

建物は、奈良県消防組合に帰属していく。

債務は、奈良県広域消防組合で各消防署の分を計算し、構成市町村へ負担金として請求される。

**質問** 管轄区域外へ出動した場合の経費負担は。

**答弁** 現在、詳細は決まっていないが、平成28年に通信指令統合がされるまでに早急に決めるべく聞くところ。

## 奈良県広域消防組合の設立に関する協議について

### 反対討論

広域消防組合の設立ありきで、その後を決めていくというところが多岐ある。



災害時は、広域化に参加しなければ、応援がないことはないはずである。今の段階でこの規約案を認めることに対しては反対する。

### 賛成討論

大きな災害等で防災意識が高まっており、自助、共助、そして、自治体として責任ある公助は必要である。

指揮命令系統が一本化され迅速に県民を等しく安全を守るため、大同団結し、組織力を十分に機能させて、防災、減災にあたるべきであり、広域化することが望ましいため賛成する。

審議の結果、挙手多数により原案どおり可決しました。

## 奈良県広域消防組合設立に伴う西和消防組合の解散に関する協議について

### 反対討論

広域消防組合設立に対しての反対意見と同じで西和消防の解散については反対をする。

### 賛成討論

奈良県広域化に賛成を表明しており、法制度上も、2つの組合に加入することができないため賛成する。

審議の結果、挙手多数により原案どおり可決しました。

## 西和消防組合の解散に伴う財産処分に関する協議について

### 反対討論

一体の議案であることから、この議案に反対する。

## 賛成討論

西和消防組合は、消防機能は十分機能していると思っ  
ているが、県広域化の一本化という事であり財産処分についても賛成する。

審議の結果、挙手多数により原案どおり可決しました。

総務建設委員会

委員長 山田 仁樹

## 同意



三好 慶男 氏  
住所 平群町梨本

### 公平委員会委員

公平委員会委員に三好慶男氏を再任することに同意しました。

## 議会の動き

### 駅周辺整備事業特別委員会

4月30日

\*平群駅周辺整備事業進捗状況について

### 議会運営委員会

5月23日

\*平成25年平群町議会第3回定例会の議会運営について

### 文教厚生委員会

5月31日 / 6月24日

\*清掃センター埋設灰にかかる環境対策について

### 公共交通対策特別委員会

6月24日

\*コミュニティバスのルート・ダイヤ改正(案)について



米田 幸弘 氏  
住所 平群町久安寺

### 教育委員会委員

教育委員会委員には米田幸弘氏を再任することに、新たに北和恵氏を任命することに同意しました。



北 和恵氏  
住所 平群町菊美台

## 議員提出議案

### 発議

「平群町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例」

提出者 高幣 幸生  
賛成者 馬本 隆夫

窪 繁田 智子  
和子  
(原案撤回)

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の早期制定を求める意見書

提出者 窪 和子  
賛成者 高幣 幸生

(原案可決)

公的年金の2.5%引き下げの中止を求める意見書

提出者 山口 昌亮  
賛成者 植田いずみ

(原案否決)

速やかな取り調べの可視化(取り調べ全過程の録音録画)を求める意見書

提出者 植田いずみ  
賛成者 山口 昌亮

(原案可決)

# 町政を問う! 一般質問一覽

井戸 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消火栓ボックスは本当に必要なのか</li> <li>2. 東小学校大規模改修の教室の配置には、できるだけ配慮を</li> <li>3. 東小学校と西小学校の統合による新設校の名前、校歌の決定は、若い人も含めた住民の投票で</li> </ol>	繁田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 早急に人口増加施策・町の活性化策を</li> <li>2. 公共交通見直しまでのタイムスケジュールと具体的な取組み</li> <li>3. 役場庁舎の適正化な管理について</li> </ol>
植田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成について</li> <li>2. 高齢者に対する有価物の回収体制の整備について</li> <li>3. くまがしステーションの活性化について</li> </ol>	奥田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地元業者育成の為、どんな努力をしているのか</li> <li>2. 国民健康保険税、介護保険料の利用について</li> </ol>
窪 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニティバスのルート見直しとダイヤ改正について</li> <li>2. 無人化の竜田川駅に、人員配置とバリアフリー化を</li> <li>3. 風しんワクチン接種費用の公費助成について</li> </ol>	山田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平群東小学校大規模改修工事の工事計画について</li> <li>2. 若い世代の定住促進について</li> </ol>
馬本 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定住化促進に係る固定資産税相当額助成金交付事業の創設を</li> <li>2. 平群駅前東側区域の拡張を</li> <li>3. 「野菊の里斎場」葬祭棟の多様化に向けての改修を</li> </ol>	森田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千光寺への参拝道等の整備を</li> <li>2. 町の節電対策、取組みは</li> <li>3. 町職員の評価、処遇等の人事について</li> </ol>
		戎井 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「人事考課システム」について</li> <li>2. 新規採用職員に対する導入研修について</li> </ol>
		山口 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て支援の推進で地域の活性化を</li> </ol>
		高幣 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町の人口減少と空き家対策と町民の定住化策について</li> <li>2. 小学校での国際力を醸成する英語学習と再編による跡地利用について</li> </ol>

## 新設校の名前・校歌の

## 決定は住民投票で



井戸 太郎

### 質問

新設校の校名について、公募されています。公募は、多くの方々からアイデアを集めることができるのでいいことだと思います。ただ、良いアイデアが生まれても採用かどうかは選考するメンバー次第になります。一般的に、重要なことを決定する選考メンバーは、社会的に信用があり、実績のある人物がなりますので、年齢層が高くなります。今回もそう



言えます。メンバー次第では、若い人や女性の意見があまり届かないことが考えられます。そこで思い切って10代・20代・30代の方にも選考委員に入ってもらってはどうかと考えますが

校名校訓は、再編時期が迫っているため、早く決定しなければならず、住民の投票による選考は難しいと考えます。校歌については、公募をするか、専門家に依頼するのか。その手法は、再編検討協議会で議論いただき決定します。

### 答弁

いかがでしょうか。また、最終的にはより多くの方が決定するのが良い方法ではないでしょうか。例えば、選考メンバーが3つ程度候補を選び、最後に今流行の選挙選挙のようなかたちで決定する方法です。結果について、より多くの方が納得すると考えます。

# 高齢者に対する 有価物の回収体制について



## 質問



植田 いずみ

資源として有価物（新聞やダンボール等）の回収率を上げていくことは、ごみ減量を進めていくうえで非常に重要だと考えます。

しかし、高齢者にとっては回収場所まで重たい新聞や雑誌、大きなダンボールを持っていくことは大変な作業であり、転倒などでケガでもしたら大変なことになります。高齢化率や高齢者世帯

が増えてきていることから、高齢者世帯への有価物の回収体制の整備が早急に必要と考えます。

ふれあい収集で対応とのお考えのようですが、認定の要件が厳しいことなどから、有価物の回収に特化した対象者の要件等の整備が必要です。

いづごろを目途に、回収体制を整備していくお考えでしょうか。

## 答弁

高齢者にとって、新聞や雑誌等重たいものを集積場所まで持つていくのは大変だと考える。

現在高齢者や障害者等「ゴミだし困難者」を対象にふれあい収集で個別回収も行っているが、可燃ごみとして回収している。出来るだけ8月くらいを目途に、ふれあい収集のなかで要件等も含め対応も考えていきたい。

# 竜田川駅に人員配置と バリアフリー化を



窪 和子

## 質問

昨年12月より、竜田川

駅と元山上口駅は乗降客数の減少を理由に駅員無人化となりました。しかし、高齢化により、自動車等の利用からコミバスや鉄道利用に交通手段が大きく変わります。

今回、無人化に伴い緊急時は、駅に設置しているインターホンから遠隔操作で対応しています。が、今後、事故やトラブルなどを防ぐには鉄道退職OB等の配置が必要であ

り、町も人件費の負担をして設置すべきと考えます。

また4駅中、竜田川駅だけがスロープも無いため、改札から11段の階段の上り降りが必要で、身



体のご不自由な方や車いすでは利用できません。町も費用負担をして階段のバリアフリー化や、待合室の設置に取り組みべきではないでしょうか。

## 答弁

1日4回、王寺駅から駅員が巡回し、インターホンからのコールは1日3件程度であるが、人員配置については、鉄道OBに限らず、ボランティアや昼間だけ地元老人クラブの方が駅に配属されている他府県の例もあり、前向きに調査研究したい。

スロープ等の必要性は認識しており、対応が必要と考えている。待合室の設置も要望をつけてい

## 平群駅前線東側区域の拡張を



### 質問



馬本 隆夫

平成23年6月議会にて、平群駅北側踏切からバイパスまで約200メートルの道路は、狭隘な区間が多く交通安全上拡張が必要ではと、質問いたしました。

当時経済建設課長は、「この路線の道路拡張の必要性は高いと認識している。まずは、利用者の交通量を調査し、実態把握を行う」との答弁でした。

その後、平成24年3月

議会にて、現在までの進捗と予定を質問し、課長は、「1月に午前7時から午後7時までの12時間の交通調査を町で実施し、平群駅から三里交差点間を調査し、東・西行き合計で車両は2272台、歩行者は合計で約600人が利用されており、町としては、事業化については、もう少し調査研究してまいりませう。」との答弁でした。

私は、東側区域の拡張が完成してこそ、平群駅前周辺整備事業が成功裏に終わると言っても過言ではないと思います。

そこで、事業化に向けての経過と予定についてお聞きします。

### 答弁

今後、拡張計画を立案し、決定後に全体事業費の算出や地権者の意向確認等、必要なプロセスを経て、段階的に事業化に向け取り組んでまいります。

## 公共交通見直しまでの

## 取り組みについて



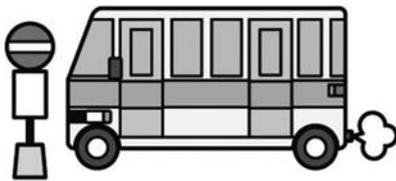
繁田 智子

### 質問

コミバスは8月半ばまでにルートの見直しとダイヤ改正案の検討が行われ、11月1日に改正される予定である。

またデマンド交通は本年度末まで、検討期間とのこと。あまり時間的な余裕もない中で、利用者のニーズを把握し、多くの方が利用しやすいコミバスであるために、次の点について質問する。

①ルート変更のポイントとダイヤ見直しの留意



②西山間ルートの増便

③車内の通路を広くし、ノンステップバスにできないか

### 答弁

④乗降客がないのに停留所があるのは無駄ではという意見がある。利用者の生の声をどのように聴取して、見直しに反映していくのか。

現在の中央循環ルートは平群駅を起点とした北部ルートと南部ルートに分かれ、所要時間はそれぞれ約50分、待ち時間5分となる予定。時間短縮に合わせて1〜2便の増便を見込んでいる。

西山間ルートは既存の路線を維持しバス停の増設は考えていない。

利用者の意見は意見箱やドライバーからの報告また、出前講座を開くなどの方法で聴取しよう。

# 国民健康保険税 介護保険料の利用について



## 質問



奥田 幸男

国民健康保険税の負担は非常に高いが、利用する人の中には負担以上に医療費がかかっている方もある。一方で健康について色々な努力をされている人は、負担ばかりで何の恩恵もない。そこで年間を通じて極端に負担をかけていない町民にはご褒美として何らかの健康賞を考えてほしい。

おめでとございませす。「という励ましの記事があるが、介護保険に頼らないように日頃一生懸命に努力し頑張っている人達もいる。こんな方にも何らかの形で励ましのご褒美を考えてほしい。

## 答弁

医療費適正化の一助となる特定健康診査や人間ドック等総合健診助成事業など、県下に誇れる内容で実施しており重症化防止、健康づくりに鋭意努力している。医療費抑制に貢献して頂いている事も事実であるので、今後も保健事業等の充実を引き続き進めて行きたいと考えている。行政側も気持ちよく理解している。データの突合は困難であるが、課内の保険部門と健康部門がタイアップして、何らかの方法で健康な方を表彰出来ないものか研究課題として。

# 若い世代の

# 定住促進について



山田 仁樹

## 質問

新婚世帯向け賃貸住宅家賃補助制度の創設は、若い世代の定住化促進の目玉政策になるという信念から、これまで各地方の実例や、期待できるあらゆる効果も含めて提案してきました。

しかし、23年6月議会でも町からは、『個人給付的な制度は大変困難である』と、検討する考えもない答弁でした。あれから2年、県内でも安堵町、御所市他様々



な市町村でも実施されているようです。この補助制度の創設に取り組む考えはないのですか？  
また、中学校卒業等の

## 答弁

乳幼児医療費助成拡充ほか、子育て支援対策等、平群町独自の具体的に実質的な魅力と感ぜてもらえる施策、制度の創設に取り組みました実績・計画はありますか？

若い世代への支援施策の優先順位は、定住性の高い一戸建住宅の取得者に対する支援施策から着手し、実績・成果・費用対効果を検証した後、賃貸住宅の支援制度について検討したい。  
実績・計画としては、母子保健・子育て支援計画に基づき保健・福祉・医療・教育の連携を深め子育て環境の水準向上を目指している。

## 千光寺への参拝道等の整備を



### 質問

役行者は我が町の千光寺で修行後、大峰山に入った事から元山上と呼ばれている。

千光寺では戸開式、戸閉式等の伝統行事が行われ、大峰山同様に裏・表行場もある。また、鳴川渓谷沿いの清滝の石仏も石仏ファンに知られている。なお、鳴川はグリーンツーリズムの拠点でユー



森田 勝

スホテルを併設。

① 自然休養村町駐車場から千光寺惣門までの町道は、急勾配で車のすれ違いができないが。

② 駐車場に併設しているトイレは古くて、使用をためらう施設では、来訪者への「おもてなし」が感じ取れないが。

③ 観光について、町の戦略的位置付けは。

### 答弁

① 町道は、鳴川地区の生活・千光寺へアクセス道路になっており、地元から改良要望があるが、道路に隣接して民家が建ち並び、急斜面の山林になつており、現時点では整備は困難である。しかし、現状の中での出来るだけの対策を講じたい。

② トイレ改修の計画はないが、将来的には改修する必要がある。

③ 観光を町づくりの基本戦略の一つとして、位置付けている。

## 人事考課システムについて



### 質問

人事考課システムについては、平成19年以来管理職対象に試行実施の段階と聞いて久しい。

1 現状は？



戒井 政弘

2 どんな手法を導入しようとしていたのか？

3 管理職への試行後、一般職員への拡大の計画はあったのか？

4 評価結果の反映については？

### 答弁

1 本町の人事考課制度は、22年3月にマニュアルが完成。23年、24年度は、年間を通じて実施。25年度も試行実施中。

2 考課手法は  
①能力考課 職務遂行過

程での行動として、発揮された能力を考課項目に照らして考課。

②実績考課 目標管理手法により何をいつまでにどのような形で達成し成果をあげたかを考課。

③運営管理考課 部下が上司を、能力考課を用いて考課。

3 考課者である管理職がまずシステムに馴れる必要性から、管理職対象に試行実施した。まだ不安な要素を抱えており、職員からも不安視する意見もあり、25年度の導入は見送った。

4 評価結果の給与等への反映は、予定していない。

# 子育て支援の推進で 地域の活性化を



山口 昌亮

## 質問

近隣と比較して、平群町の人口減少、年少人口の落ち込みは激しいものがある。とくに年少人口割合は全国平均12・9%を1・75%も下回っている。これは、20代から50代前半までの働き盛りの比率が低いということであり、町財政にも悪影響を及ぼしている。

この現状を直視するならば、医療費無料化の拡充、新婚世帯家賃補助、



出産祝い金などといった子育て支援、若い世帯の定住促進を積極的に推進することが最も効果的。これらの施策を推進する子育て支援室や定住促進室といった組織を設置して、具体的な計画策定をすすめるべき。

## 答弁

第5次総合計画にも人口対策の項目を設けている。子育て支援、近隣に比べて保育料も安い、決して近隣にそれほど劣るものはないと考えている。指摘の子育て支援も大切と認識するが、まず魅力のある町をつくることが大事。個人給付的なことよりも、教育環境の整備などを重視している。

推進するための組織については、限られた職員数であり、プロジェクトチームによる対応等で対処したい。

# 人口減少と空き家対策と 定住化策について



高幣 幸生

## 質問

町の活性化の原動力は人口です。現在の人口は、1万9079人で、第5次総合計画では、定住化に向けた都市整備による効果を踏まえた10年後の人口推計は1万8千人で、人口減少の歯止めが課題です。急激な少子高齢化・若い世代の流出防止対策と町の空き家管理するシステムを考え定住促進が大きなキーです。

また、昭和40年代後半



に建設された住宅は、親世代の亡後、空き家は推定で650戸。町の空き家対策プロジェクトは構築しているのでしょうか。

## 答弁

空き家の増加原因は、居住者の高齢化と、子どもが就職や結婚を機に町外へ転出し、後継ぎがないと考える。空き家の改修や建替えが必要な物件もあるが、廃屋は比較的少なく活用できる良質な住宅もある。

その対策プロジェクトは、まだ十分には確立していないが県の支援により、各種制度の情報を受け、活用等の研究、検討を進めている。

定住化のプロジェクトは5つの柱を基本と位置づけ、人口対策プロジェクトチームとして政策推進会議を設置し、取り組みを進めている。

# 県議長会研修に参加して

議長 下中 一郎

7月8日、奈良県市町村会館において、東京新聞・中日新聞論説副主幹でテレビの「コメンテーター」として活躍されている、ジャーナリストの長谷川幸弘（はせがわ ゆきひろ）氏を迎えて、奈良県町村議長会議長会正副議長研修会が開催されました。

講演では、「激動する政局の行方」と題して、安倍政権（前回）、福田政権、麻生政権で政府税制調査会委員、政府審議会委員を務めた経験から、7月21日執行の参議院選挙の焦点は何か、また、今何を問われているのか、国民は何を求めているのか。

日本経済の安定成長の実現ではアベノミクスの3本の矢と経済成長戦略についてと、TPP問題、金融政策から見た消費税問題について。  
憲法問題では、集団的自衛権について。  
外交と内政問題では、米中関係、日露関係から見た平和と繁栄についてなど、最近の話題を中心にテレビでは聞けないような核心について話をされました。

下中 記



## 編集後記

日本通の人でなくても「フジヤマ」と言えば大抵の外国人は「知っている」と答えてくれます。

その富士山が去る6月22日、世界文化遺産に登録されました。国内の世界遺産では17件目です。

日本の世界遺産を1年に1か所ずつ訪ねても17年がかりか…まずは富士登山から挑戦と思っただけと気づきました。

その前に、地元の「平群遺産」をどれだけ訪れたか振り返ってみれば、あまたある寺社、古墳、石仏群のほんの一部。

まさに「灯台も暗し」。これでは平群の良さを人にアピールできません。

やっほ、ふるさと平群文化と魅力の再発見の旅に出かけようと思えます。

繁田 記



## 町の話 題



### 椹原のぶどう

近鉄王寺駅を出発して信貴山下駅を過ぎると、左側の車窓から真っ白なビニールハウスが目飛び込みます。平群町の特産品の一つ、ぶどうです。

平群のぶどう農家は椹原（ふしはら）地区の20軒。作付面積22㌔でデラウェアを中心に販売額は約2億5千万円（平成20年度）にのびます。

ぶどう農家は5月から8月中旬まで収穫に追われます。出荷は大半が市場出荷ですべてのぶどう農家が加入する新大信貴（しんおおしぎ）ブドウ出荷組合で行っていますが、道の駅くまがしステーションや各農家での直売もしています。

収穫で大忙しの7月初旬、出荷組合の奥田佳央組合長にお話をうかがいました。「出荷が終われば、9月はハウスのビニール除去と害虫駆除、10月は肥料、11～12月は剪定、12月～2月に新しいビニールを被覆し、換気のためハウスの開け閉め、2月～4月にシベリン処理作業（主に種抜き）」。1年を通して手間をかけた作業が続きます。

椹原のぶどう栽培は古く、大正時代から。「昭和30年代までは露地栽培でしたが、種抜き処理技術の向上やハウス栽培で作付面積が増加してきました」。

重油が10年前の3倍など経費は増える一方、デラウェアは安値安定。「おいしい平群のぶどうを多くの人に知ってほしいです」。

山口 記